

## 第23回（2022年度）島根県障がい者スポーツ大会「卓球」競技会 開催要項

### 1. 目的

この大会は、障がいのある人が、競技を通じてスポーツの楽しさを体験するとともに、県民の障がいへの理解を一層深め、障がい者の社会参加促進に寄与することを目的とする。

### 2. 主催

島根県 公益財団法人島根県障害者スポーツ協会

### 3. 共催（予定 順不同）

益田市 出雲市

### 4. 主管（予定 順不同）

島根県卓球協会 益田市卓球協会

### 5. 後援（予定 順不同）

公益財団法人島根県体育協会 社会福祉法人島根県社会福祉協議会 島根県身体障害者団体連合会 島根県知的障害者福祉協会 島根県手をつなぐ育成会 一般社団法人島根県精神保健福祉会連合会 島根県精神保健福祉士会 一般社団法人日本精神科看護協会島根県支部 島根県特別支援学校長会 益田市教育委員会 益田市体育協会 社会福祉法人益田市社会福祉協議会 益田市身障者福祉協会 益田市手をつなぐ育成会 出雲市教育委員会 出雲市体育協会 社会福祉法人出雲市社会福祉協議会 出雲市身障者福祉協会 出雲市手をつなぐ育成会

### 6. 協力（予定 順不同）

島根県聴覚障害者情報センター 島根県障がい者スポーツ指導者協議会 ボランティアの皆さま

### 7. 期日

2022年4月16日（土）  
受付：9時30分から10時00分  
競技開始：10時30分から

### 8. 申し込み期限日

2022年3月28日（月）

### 9. 会場

#### （1）一般卓球 益田市民体育館（益田運動公園内）

所在地：益田市乙吉町イ874番地 電話：0856-23-6283

#### （2）サウンドテーブルテニス（STT） サン・アビリティーズいずも

所在地：出雲市今市町北本町3-1-20 電話：0853-24-2040

### 10. その他

上記以外の項目は、「島根県障がい者スポーツ大会 全競技共通開催要項」による。

---

本件に関する送付先・問い合わせ先  
島根県社会福祉協議会 地域福祉部 障がい者福祉係内 島根県障害者スポーツ協会  
〒690-0011 松江市東津田町1741番地3 いきいきプラザ島根5階  
電話：0852-20-7770 ファックス：0852-32-5982  
メール：[info\\_office@spokyo.org](mailto:info_office@spokyo.org)

## 第23回（2022年度）「卓球」競技会 実施要領

### 1. 競技規則

開催年度の（公財）日本パラスポーツ協会制定「全国障害者スポーツ大会競技規則」及び同年度の（公財）日本卓球協会制定「日本卓球ルール」、並びに本大会の申し合わせ事項を適用する。

### 2. 参加区分

（1）身体障がい者は、下記の競技区分で競技する。

①個人競技は、「卓球競技種目・障がい区分表」の4種目から1種目を選択する。

②団体競技は男女混合で、1チーム3名とし1名の補欠を置くことができる。

※障がい区分番号15を除く。

（2）知的障がい者は、下記の競技区分で競技する。

①個人競技は、「卓球競技種目・障がい区分表」の3種目から1種目を選択する。

②団体競技は男女別で、1チーム3名とし1名の補欠を置くことができる。

（3）精神障がい者は、下記の競技区分で競技する。

①個人競技は、「卓球競技種目・障がい区分表」の3種目から1種目を選択する。

②団体競技は男女別で、1チーム3名とし1名の補欠を置くことができる。

### 3. 服 装

（1）運動に適した服装とする。

（2）ゼッケンは主催者側が交付するものを使用し、競技用服装の背部につける。

### 4. 大会開始前練習時間

受け付けを済ませた後、開会式の合図があるまでは練習を許可する（練習球は各自で用意すること）。

### 5. 招 集

（1）招集は競技場内で行い、競技進行により放送で案内するので競技役員の指示に従う。

（2）招集完了時間は試合開始の10分前とする。

### 6. 入 退 場

競技場への入退場は、競技役員の誘導により行う。

### 7. 競技方法

（1）競技進行は、プログラムのとおりとする。

（2）使用する球は主催者が用意する。

（3）個人・団体競技とも原則としてトーナメント方式により勝敗を決める。ただし、参加人数によってはこの限りではない。

（4）個人・団体競技とも5ゲームズマッチの3ゲーム先取により勝敗を決める。

（5）個人競技終了後、団体競技を行う。

（6）団体競技参加チームは試合ごとにオーダー用紙を提出する。

（7）個人・団体競技とも3位決定戦は行わない。

（8）団体競技について、人数を満たさない場合でもエントリーは可能だが、オープン試合とし、敗者（勝ち進めない）とする。

- (9) サービスは、得点の合計が2ポイント増すごとに交代する。また双方が10ポイントになった時は、順序を変えず1ポイントごとにサービスを交代する。
- (10) 1ゲームごとにコートチェンジする。最終ゲームでは、どちらかの選手が5点に達した時点でチェンジアウトとする。
- (11) フリーハンド（ラケットを持っていない手の手首より先）がコートに触れても失点としない。ただし、コートを支えて打ったり、テーブルを動かしてはならない。
- (12) 身体的理由により、主審の承認を得て、審判員が相手にサービスの仕方について変更を知らせた場合には、サービスの規定を緩和することができる。また、知的障がい者・精神障がい者についても、主審が対戦者の不利にならないと認めた場合、サービスの規定を緩和することができる。
- (13) 車椅子使用者は、シートから身体を離してプレーをしてはならない。また、プレー中にフットレストが床についた場合も失点とする。
- (14) 車椅子使用者が正しく出されたサービスをレシーブする際、ボールが①レシーバーのコートに触れた後、ネット方向に戻った場合、②レシーバーのコートに止まった場合、③レシーバーのコートに触れた後、どちらかのサイドラインを横切った場合は、ラリーはレットとなる。ただし、「レット」が宣言される前に打球した場合は、そのまま有効となる。

### 「一般卓球」

- (1) 5ゲームズマッチの3ゲーム先取により勝敗を決める。
- (2) 1ゲームの勝敗は11点先取とする。双方のポイント10-10以降は2ポイントリードした競技者を勝ちとする。
- (3) ネットの高さは、15.25cmとする。
- (4) トスの高さは16cm以上とする。
- (5) 使用球は主催者が用意する。(公財)日本卓球協会公認、ニッタクのプラスチック球(40mm、白球)を使用する。

### 「サウンドテーブルテニス (STT)」

- (1) 5ゲームズマッチの3ゲーム先取により勝敗を決める。
- (2) 1ゲームの勝敗は11点先取とする。双方のポイント10-10以降は2ポイントリードした競技者を勝ちとする。
- (3) 競技領域は、長さ8m、幅6m、高さ2.4m以上とする。ただし、会場によってはこの領域を確保できない場合もある。
- (4) 使用球は主催者が用意する。(公財)日本障がい者スポーツ協会公認プラスチック球を使用する。
- (5) 主催者が用意したアイマスクを着用する。
- (6) 認められた休憩時間、緊急中断を除き、競技は1マッチを通して継続的でなければならない。

## 卓球競技種目 障がい区分表

◎男女別・年齢区分別    △男女混合・年齢区分なし    ▲男女別・年齢区分なし

	区分番号	障がい区分	個人競技			団体競技	
			障がい別	S T T	全障がい		
肢体不自由	1	1 片上肢障がい	▲		▲	△	
		2 両上肢障がい					
		3 下肢障がい	3 片下腿切断、片下肢不完全	▲			
			4 片大腿切断、両下腿切断 片下肢完全、両下肢不完全				
			5 [片下腿・片大腿切断] 両大腿切断、両下肢完全				
		6 体幹	▲				
	2	脳原性麻痺以外で 車いす常用・使用	7 第8頸髄まで残存	▲			
			8 座位バランスなし				
			9 その他の車いす				
	3	脳原性麻痺	10 車いす移動	▲			
			11 杖・松葉杖使用				
			12 上肢に不随意運動あり				
			13 上肢に不随意運動なし				
			14 片側障がい				
視覚障がい	15 アイマスク有り		▲				
	16 アイマスク無し	▲					
聴覚・平衡機能障がい、音声・言語機能障がい、そしゃく機能障がい		17 聴覚障がい	▲				
知的障がい		18 知的障がい	◎		▲		
精神障がい		19 精神障がい	◎		▲		

※区分15は団体競技に出場できない。

※視覚障がいは視力・視野の程度に関わらず、アイマスクの有無で出場競技を分ける。区分15は主催者が準備したアイマスクを装着する。

※  は全国障害者スポーツ大会種目には含まれない。